

イベント活動報告書

下記空欄に必要事項(参加状況、運営状況、懇親会等)を記入のうえ、活動実施後10日以内に参加者名簿・写真(集合写真.jpgを含み、2枚以上)を添えて、E-Mail・郵送・FAXで事務局宛に提出をお願い致します。
(屋内サークルの場合、イベント名に記載は不要です)
★本実施状況はホームページに掲載することがありますのでご承知おきください。

		報告者	菊池正美			
サークル名	埼玉会		発信日	2022年7月16日		
イベント名	第65回 北区王子「飛鳥山公園・渋沢栄一の郷」探訪					
活動日	2022年7月14日(木)		天候	雨		
時間	13:00 ~ 15:45					
実施場所	東京都北区王子					
参加人数 <small>(下段：他地域会)</small>	会員	男：	16名	女：	6名	総計： 22名
	京葉会：	3名	西東京会：	3名	神奈川会：	1名 非会員0名

活 動 状 況

1.運営状況

13:00にJR京浜東北線王子駅南口に20名集合(途中で2名加わる)。雨が降り続けている。三々五々史料館へ向かう。ただ、この史料館はコロナ禍のため「団体の入館は お断り」とのこと、6名ずつの4グループに分け、各自で入館料(300円)を払い入館した。この館の2階に上がると、1840年3月に現在の深谷市血洗島で生まれ、家業の畑作や藍玉の製造・販売、養蚕等を手伝う一方、幼い頃から父に学問の手解きを受け従兄弟の尾高惇忠(おだかあつただ)から本格的に「論語」などを学んだこと、「尊王攘夷」思想の影響を受けた栄一は、京都に向かい一橋慶喜に仕え一橋家の家政の改善などに実力を発揮し次第に認められたこと、27才の時水戸藩主の徳川昭武に随行し、パリの万国博覧会を見学したり、欧州諸国の実情を見聞し先進諸国の社会の内情に広く通ずることができたこと、帰国後明治政府の大蔵省で新しい国造りにかかわったこと、1873年に大蔵省を辞し「第一国立銀行」の総監役(後に頭取)につき、株式会社組織による企業の設立・育成に努め生涯に約500もの企業にかかわったこと、1931年11月11日に91才で生涯を閉じたことなどを、年代別に時系列に展示されていた。「晩香廬」「青淵文庫」を見学の跡、少し時間があつたので公園内の茶席「無心庵」跡、「邀月台」、「飛鳥山1号古墳」、「飛鳥山山頂モニュメント・公共基準点」等を簡単に説明し、飛鳥山モノレールの山頂駅前で解散(15:45ごろ)した。

2.懇親会

「さかなや道場」王子北口店
15名参加。本日は皆さんあいにくの雨の中、良く歩きました。参加された皆さんと約2時間ほど楽しい一時を過ごせました。

送付先(郵送) 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-17-13 TMYビル10F
FAX番号 03-6240-9382 Eメール jarip@isis.ocn.ne.jp

記念写真(1) 王子・飛鳥山公園「渋沢栄一の郷」



飛鳥山公園「晩香廬」

